

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 052	提案機関名 横須賀市
要望問題名 ヒジキの増殖	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】	
【背景】	
・漁業者の高齢化に伴い、収穫にあまり労力を必要としないヒジキ採藻漁業の重要性が高まっている。	
・また、天然ヒジキの評価も見直され、需要も高まっているところである	
・しかしながら、年々ヒジキの収穫量は減少傾向にある。	
・ヒジキを今以上に増やしていくためには、現在ヒジキが繁茂していない磯場等にもヒジキが生育できるような環境を整える必要がある。	
・横須賀市大楠漁協が平成27年度に策定した「浜の活力再生プラン」では、ヒジキ増殖の推進を掲げており、今後、増殖の取組を始める予定であることから、専門機関による技術的な知見をいただきたい。	
【内容】	
(a)磯場での増殖試験	
・ヒジキが生育している磯場等に安価なコンクリート製建材ブロックを設置し、ヒジキ幼胚を着生させる。	
・着生したヒジキが成熟した段階で、ヒジキの少ない場所に移植し、母藻とすることで、これまでヒジキが生えていなかった場所に新たなヒジキ場を創出する。	
(b)陸上での採卵試験	
・陸上でヒジキ卵を採取し、建材ブロックに着生させる。	
【対象地域等】	
対象地域：佐島地区 数量：コンクリートブロック数十基程度	
【研究課題】	
ヒジキ増殖を行うための技術的なアドバイスをいただきたいと考えております。	
・ヒジキ幼胚着生に適した時期はいつか。	
・建材ブロックを設置するのに適した場所や間隔について。	
・効率よくヒジキを生育させるにはどのくらいの頻度メンテナンスを行う必要があるか。	
・陸上採卵が可能か。	
・成長した後に移植したヒジキが新たな場所で生育するためには、どのような条件が必要か。等	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部普及指導担当
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	多くの水産資源が減少傾向にあり、水揚金額が伸び悩んでいるなか、ヒジキについては近年、国産品の需要が増加しており、水揚金額の増加を期待できる数少ない漁業対象です。このような中で、ヒジキ増養殖の重要性や将来性については当所でも注目しており、取り組んでゆく必要があると考えています。ヒジキ増養殖については他県での実施例があるので、これらについて情報収集を行い、本県にあった方法で実施できるよう、増養殖を希望する漁業者や漁業協同組合に対して技術指導を行ってまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			